

夜の片鱗 (1964)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 107分

初公開日 1964/11/01

【解説】

太田経子の原作を権藤利英が脚色し中村登が監督した。

下請け工場に勤める野上芳江は、夜はバーでホステスとして働いていた。バーには北見英次というなじみ客が来ており、芳江を夜の街に誘った。十九歳の芳江は興味本位でついていき、そのままホテルで体を許してしまう。芳江はそのまま英次のアパートで同棲を始め、工場も休みがち、実家にも帰らない日々が続いた。英次は街のチンピラで、金がなくなると芳江に売春を強要した。恐怖と諦念から、英次が連れてくる客を相手にする芳江だったが、次は街に出て客を取れと言われアパートを逃げ出す。しかし数日後、英次の所属する組のヤクザに捕まり、芳江はリンチを受けてしまう。街に出て客を取るようになった芳江は、建築技師の藤井と出会った。

【クレジット】

監督 中村登

製作 島田昭彦

原作 太田経子

脚本 権藤利英

撮影 成島東一郎

美術 佐藤公信

編集 浦岡敬一

音楽 日暮雅信

出演 桑野みゆき

園井啓介

菅原文太

平幹二郎

木村功

岩本多代

富永美沙子

広村芳子

松原浩二

田中晋二

千石規子

河野秋武